

旭竜学区防災マップ

緊急連絡先

連絡先	電話番号
救急車・消防車	119
警察署	110
災害用伝言ダイヤル	171
岡山市危機管理室	086-803-1082
岡山市災害警戒本部	*086-803-1600
岡山市中区役所災害警戒本部	*086-901-1643
岡山市中消防署	086-275-1119



凡例

- 岡山市指定避難施設及び集会所
- 一時避難場所(グラウンド・駐車場)
- 一時避難場所(公園)
- 洪水時利用するのは危険な道
- 用水道でガードがないため注意を要する道
- 行き止まり道
- ← 避難経路
- 消火栓
- AED AED
- 用水道
- 公衆トイレ
- 公衆電話
- 防災井戸
- クリニック・歯科医院・薬局
- 福祉施設・保育園

災害への備え

- 家具等の固定**
居間や寝室の安全のため、タンス、テレビ、ピアノ、本棚、冷蔵庫等の配置を見直して、転倒、落下防止の措置をしておきましょう。使わない食料の入った食器棚も整理しましょう。
- 最低3日間の食料のストック**
大規模な災害後、公的機関が本格的に活動するには、3日はかかると言われてます(最近では7日も言われている)。家族全員が最低3日過ごすことのできる飲料水と食料を準備しましょう。
- アレルギー対応食品の確保**
アレルギーのある場合、支那産物の食事を安心して受け取ることができません。あらかじめ自分で、ある程度の量のアレルギー対応食品を準備しましょう。
- 医薬品の管理**
持病のある人は、ふだんから処方箋と常備薬を用意しておきましょう。
- 小型防災グッズの用意**
いつでも、手元にラジオ、方位磁石、小型の万能ナイフ(アームナイフ)、ライト、ルーペ、ホイッスル等を用意しておきましょう。
- 持ち出し袋の用意**
家族の人数分用意し、1袋の重さは5kg以下にしましょう。
- 自宅周辺の熟知**
転落の危険のある水路、崩れる恐れのあるブロック塀等、洪水だったら、地震が来たらと想像しながら日ごろから歩いて、知っておきましょう。
- 防災井戸の確認**
この防災マップには、防災井戸の所在地を表示していますので、日ごろから防災井戸の所在地を確認しておいてください。
- お風呂の残り湯を捨てない習慣**
地震や停電のあと断水することがあります。断水時にはお風呂の残り湯が、水洗トイレや手洗い等の水として役立ちます。

浸水対策

- 気象情報、防災情報、避難警報、旭川、吉備川の河川情報等に注意してください。
- 大雨のときは、川、用水路に近づかないでください。
- 浸水の恐れのある場合は、あらかじめ電化製品や家具を高いところへ上げてください。
- 40~50cm浸水すると外開きドアが開かなくなる恐れがあります。浸水する前の早期避難が必要です。
- 浸水が進行し、50~70cmになると歩行は困難となります。
- 浸水してからは、車での避難はしないでください。
- 夜間の避難は危険です。速く避難所より近くの2階へ避難しましょう。高齢者や要援護者がいる家庭では、避難のうちに「急のために」避難することも考えましょう。
- 避難するときは、火の元、ガスの元栓を閉じ、戸締りをしてから避難してください。
- 避難するときは、隣近所で声を掛け合ってください。
- 避難するときは、荷物を減らし、身軽にし、両手を空けてください。
- 長靴は水が入ると動きにくくなります。水が入っても歩きやすいのは、脱げにくい紐のスニーカー等です。
- 冠水道路のマンホールや側溝の蓋が外れていると危険です。状況によっては、棒で探りながら歩いてください。

岡山市指定避難施設 旭竜小学校体育館



岡山市指定避難施設 旭竜コミュニティハウス



旭竜学区全体一時避難場所 高島グラウンド



一時避難場所……切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所
避難施設……災害により住宅を失った場合等において一定期間避難生活をする場所